

土砂災害の勉強をして

由岐小学校六年 はまだ みずき 浜田 瑞生

小学校で土砂災害の授業をしてくださいました。も型で土砂災害が起こった様子や起こりそうな場所も教えてくださいました。VRでは映像を見せてもらって、土砂災害が起きたらどうなるかというのを体験させてもらいました。その後で、ハザードマップを使って自分の住んでいる町や家は、どんな危険があるかを確認しました。自分達の住んでいる町で土砂災害が起きたと想定して、どのように避難すればいいかを班に分かれてシミュレーションもしました。

この勉強をしてぼくがおどろいたことは、土砂災害が起きそうな場所がぼくの住んでいる町にもたくさんあるということです。考えてみれば、大雨が降った後などに山から水がすごい勢いで流れているのを何度も見たことがあります。中学校のすぐ上の山なので、とてもこわいなあとその時に思いました。お母さんは、大雨で山の斜面がけずられて道に土砂が少し流れているのを見たことがあると言っていました。その道はぼくの家のおすぐ近くだし、ぼくもよく通るところです。今までは少しの被害ですんでいたところも、次は大きな被害になるかもしれないし、それがいつなのかはわかりません。だから、自分達で危機感を持つことが大切だと思います。ぼく達の住んでいる町は、地震が起こったら津波が来る可能性が高いところなので地震の避難訓練はいつもしているけど、土砂災害の避難訓練はしていません。だから、すぐに行動できないかもしれないので、どこに避難すればいいのか考えておかないといけないと思います。ついこの前も、えひめ県で土砂災害が起こったとニュースで見ました。テレビやスマホで避難の警戒レベルもしっかり確認して、今まで大じょう夫だったから今回も大じょう夫とは思わずに、もしかしたらと考えて早めの行動をしていきたいです。